

# 授業づくりワークショップ報告

本年度のわくわく授業づくりワークショップは ZOOM を使ったオンライン形式で行っています。先日の8月4日（火）には、多くの学校が夏期休業中にも関わらず、全国から100名を超えるご参加をいただきありがとうございました。

第1回のワークショップでは、本校校長である坂井聡が講師を務め、UD（ユニバーサルデザイン）の授業づくりについて、本校の実践を基に提案させていただきました。以下に、概要と成果、参加者の感想を掲載していますので、ご一読いただければ幸いです。

## ユニバーサルデザインの視点

本校の坂井校長より「自ら学びたくなるためにはどんな環境が必要なのか？～UDの視点でできるを体験できるように～」というテーマで本校の実践を交えながら、全ての子供の学習意欲を高めるために、人的環境である教師ができる配慮と工夫について提案させていただきました。子供が活躍できたときは、内的要因（自分の力のおかげ）、うまくいかなかった時は、外的要因（環境・教材のせい）と考えられるようにするなど、子供と関わる際に大事にしたいことを幅広くお伝えしました。



神奈川県  
小学校教員

子供たちができなかった時にする言い訳はネガティブなものだと思っていましたが、子供自身が心理的なダメージを最小限にしたいからだという視点が勉強になりました。子供たちに共感的に接して「どうしたらできるようになるか」を一緒に考えられる教師になりたいと思いました。



広島県  
特別支援学校  
教員

視覚優位について学ばせていただき、すごくすっきりしました。成功は本人の頑張りのおかげ、失敗は教材のせいという考え方を大切に普段の指導を見直していきたいと思います。



山口県  
小学校教員

特別支援学級ではその子に合った支援がしやすいですが、通常学級では難しいこともあります。通常の学級でどのように支援をしていけばよいか参考になりました。他の先生方にも伝えて、子供たちみんなが楽しく学べる環境をつくっていききたいと思います。



広島県  
大学生

子供のせいにしない。これが何よりだと思いました。そのために、教師が指導について学ぶべきだと思いました。また、できない苦しみや困っている気持ちに寄り添いながら次の一步を模索することが大事だと思いました。今後に生かしていきたいと思います。



東京都  
NPO法人職員

働いている大人に対しても、大切な考え方や伝え方、場の作り方など参考になるものが多くありました。